J-SPEEDを活用した災害時自治体職員の健康チェックについて

1. 課題認識
   1　災害時、自治体職員は強い使命感のもと住民保護に従事します。
   2　自治体職員は災害対応時に、極端な職務環境に晒され疲弊します。
   ◎自治体職員の災害時職務特性
   □　自らも被災するなか、災害対応・復旧復興の前線に立つ
   □　常に正しい情報を出し続けなければならないプレッシャーに晒される
   □　住民のやり場のない怒りの矛先が自治体職員に向けられる、弱音を吐けない
   □　被災自治体の職員は特別な訓練等を事前に受けていません
   3　自治体職員の疲弊対策/健康管理は災害対応の成否に直結する重要課題です。
   “自治体職員は社会インフラであり、災害時は住民のライフラインです”

2. 目的　災害対応自治体職員の健康チェック体制を構築すること。

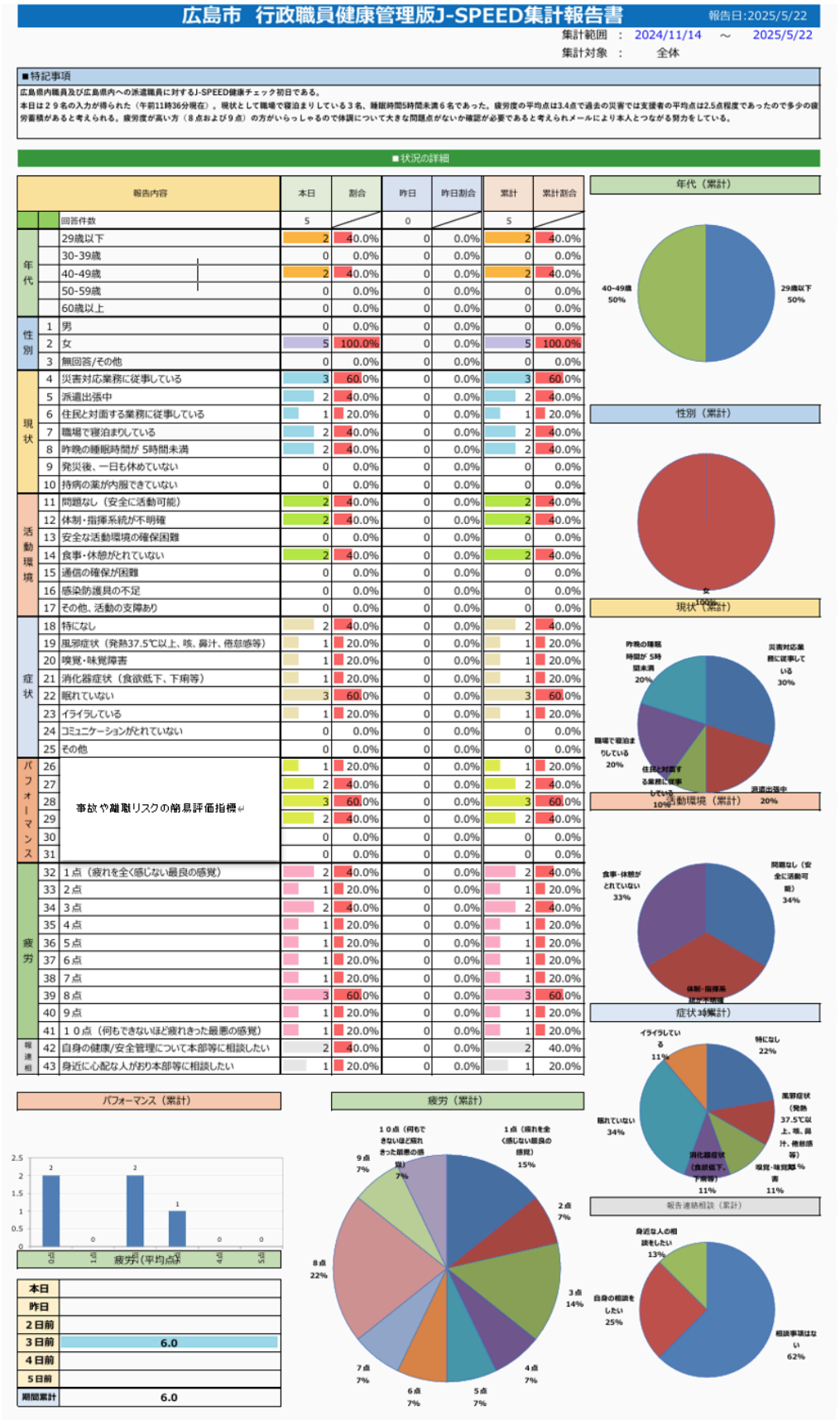
3. 方法　J-SPEED健康チェックの実施
   □　職員が健康状態を入力（1日1回1分程度、2分はかかりません！）
   □　介入が必要な職員に対しては、産業保健の専門家が介入します
   □　自治体担当者と災害産業保健支援チームが連携して上記を体制化します
   1　J-SPEEDに入力すると何がどうなるのか？
   □　最小限の負担で、職員の勤務健康状況を可視化できる
   □　緊急性のある体調の職員を抽出できる
   □　労働衛生の専門家によるファーストコンタクトにつなげることができる
   □　支援者支援窓口との連携等による適切なフォローアップにつなぐことができる
   □　休職・離職を予防することができる
   □　取り組み自体が職員に向けた応援メッセージとなる
   □　職員を守ることで、住民への行政サービスを継続することができる
   2　手順
   □　機構図/部局名称一覧をJ-SPEEDシステム担当に共有する。
   □　各職員がQRコードから連絡先等を初期登録し、日々の健康状態を入力する。
   □　支援チームが、データを集計
   ✧　対応が必要な職員に対して、産業保健の専門家が電話対応を実施
   （例：相談を希望、疲労度が高い、パフォーマンス低下等）
   □　支援チームは、集計報告書を作成して自治体担当者に報告
   ✧　保健医療福祉調整本部会議等にも提出し、組織的な対応につなげる

4. 自治体本件担当者のタスク
   1）　職員名簿の提供
   2）　職員への周知
   3）　支援チームからの報告を受ける（電話等）

5. J-SPEED統合集計報告書（サンプル）



支援チーム連絡先
- 産業保健担当（産業医科大学 災害産業保健センター　DOHAT）立石093-691-7180
- システム担当（広島大学公衆衛生学　J-SPEED解析支援チーム）田治090-6406-5704 村山090-6979-7362 永田090-9791-6285



広島市　行政職員健康管理版J-SPEED集計報告書

報告日:2025/5/22

集計範囲 ： 2024/11/14 ～ 2025/5/22

集計対象 ： 全体

■特記事項

広島県内職員及び広島県内への派遣職員に対するJ-SPEED健康チェック初日である。
本日は２９名の入力が得られた（午前11時36分現在）。現状として職場で寝泊まりしている３名、睡眠時間5時間未満６名であった。疲労度の平均点は3.4点で過去の災害では支援者の平均点は2.5点程度であったので多少の疲労蓄積があると考えられる。疲労度が高い方（８点および９点）の方がいらっしゃるので体調について大きな問題点がないか確認が必要であると考えられメールにより本人とつながる努力をしている。

■状況の詳細

		報告内容	本日	割合	昨日	昨日割合	累計	累計割合
		回答件数	5		0		5	
年代		29歳以下	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
		30-39歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		40-49歳	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
		50-59歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		60歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
性別	1	男	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	女	5	100.0%	0	0.0%	5	100.0%
	3	無回答/その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
現状	4	災害対応業務に従事している	3	60.0%	0	0.0%	3	60.0%
	5	派遣出張中	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	6	住民と対面する業務に従事している	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	7	職場で寝泊まりしている	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	8	昨晩の睡眠時間が 5時間未満	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	9	発災後、一日も休めていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	10	持病の薬が内服できていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
活動環境	11	問題なし（安全に活動可能）	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	12	体制・指揮系統が不明確	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	13	安全な活動環境の確保困難	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	14	食事・休憩がとれていない	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	15	通信の確保が困難	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	16	感染防護具の不足	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	17	その他、活動の支障あり	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
症状	18	特になし	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	19	風邪症状（発熱37.5℃以上、咳、鼻汁、倦怠感等）	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	20	嗅覚・味覚障害	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	21	消化器症状（食欲低下、下痢等）	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	22	眠れていない	3	60.0%	0	0.0%	3	60.0%
	23	イライラしている	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	24	コミュニケーションがとれていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	25	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
パフォーマンス	26	事故や離職リスクの簡易評価指標	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	27		2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	28		3	60.0%	0	0.0%	3	60.0%
	29		2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	30		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	31		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
疲労	32	１点（疲れを全く感じない最良の感覚）	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	33	２点	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	34	３点	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	35	４点	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	36	５点	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	37	６点	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	38	７点	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	39	８点	3	60.0%	0	0.0%	3	60.0%
	40	９点	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
	41	１０点（何もできないほど疲れきった最悪の感覚）	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
報連相	42	自身の健康/安全管理について本部等に相談したい	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
	43	身近に心配な人がおり本部等に相談したい	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%

年代（累計）

性別（累計）

現状（累計）

活動環境（累計）

症状（累計）

報告連絡相談（累計）

パフォーマンス（累計）

疲労（平均点）

本日	
昨日	
2日前	
3日前	6.0
4日前	
5日前	
期間累計	6.0

疲労（累計）

支援チーム連絡先

- 産業保健担当（産業医科大学 災害産業保健センター　DOHAT）立石093-691-7180
- システム担当（広島大学公衆衛生学　J-SPEED解析支援チーム）田治090-6406-5704 村山090-6979-7362 永田090-9791-6285